



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 金下建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1897 URL <https://www.kaneshita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金下 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 奥村 泰宏

TEL 0772-46-3151

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	8,732	1.3	652	313.1	745	226.4	474	229.0
2019年12月期第3四半期	8,846	19.5	158	19.3	228	8.8	144	5.3

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 513百万円 (304.6%) 2019年12月期第3四半期 127百万円 (37.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	209.62	
2019年12月期第3四半期	52.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	20,225	17,075	82.8
2019年12月期	22,977	19,573	83.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 16,740百万円 2019年12月期 19,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期				50.00	50.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.0	650	351.5	780	193.1	500	165.8	221.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	3,806,660 株	2019年12月期	3,806,660 株
2020年12月期3Q	1,650,220 株	2019年12月期	1,070,811 株
2020年12月期3Q	2,259,569 株	2019年12月期3Q	2,735,945 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で、経済活動が停滞していたことにより、雇用・所得環境が悪化する等、非常に厳しい状況が継続し、景気の先行きは、依然として不透明な状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資は比較的堅調に推移しているものの、民間設備投資は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けており、引き続き厳しい状況が継続しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は87億3千2百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。利益面につきましては、複数の大型工事において追加変更協議が順調に推移したことに加え原価低減が図られたことや、道路工事において原材料価格の下落により舗装用材料価格が低下したこと等により工事採算が改善し売上総利益が増加したことから、営業利益は6億5千2百万円（前年同四半期比313.1%増）、経常利益は7億4千5百万円（前年同四半期比226.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千4百万円（前年同四半期比229.0%増）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、一部の工事において一時的な工事の中止がありました。影響は軽微であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

(建設事業)

受注工事高は、44億5千6百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。完成工事高は85億6千6百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は、工事採算の改善に伴い完成工事総利益が増加したことにより、9億7千7百万円（前年同四半期比109.5%増）となりました。

(製造・販売事業等)

主にアスファルト製品の製造・販売で、売上高は4億4千8百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は、原材料価格の下落等により7千万円（前年同四半期比44.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等により、前連結会計年度末より27億5千2百万円減少し、202億2千5百万円となりました。

負債は、支払手形・工事未払金等が減少したこと等により、前連結会計年度末より2億5千5百万円減少し、31億5千万円となりました。

純資産は、自己株式が増加したこと等により、前連結会計年度末より24億9千8百万円減少し、170億7千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は82.8%（前連結会計年度末は83.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年8月4日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,233	8,297
受取手形・完成工事未収入金等	5,251	2,791
有価証券	473	701
未成工事支出金等	532	246
その他	20	30
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	14,508	12,063
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,214	1,211
その他(純額)	341	342
有形固定資産合計	1,556	1,553
無形固定資産		
	17	13
投資その他の資産		
投資有価証券	6,529	6,231
その他	593	590
貸倒引当金	△225	△225
投資その他の資産合計	6,897	6,596
固定資産合計	8,470	8,162
資産合計	22,977	20,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,695	1,175
未払法人税等	133	202
未成工事受入金	246	271
完成工事補償引当金	19	25
賞与引当金	—	50
工事損失引当金	22	30
その他	414	470
流動負債合計	2,529	2,223
固定負債		
繰延税金負債	505	535
役員退職慰労引当金	355	376
その他	16	16
固定負債合計	876	927
負債合計	3,405	3,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,143	2,147
利益剰余金	16,765	17,102
自己株式	△2,027	△4,896
株主資本合計	17,882	15,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,355	1,387
その他の包括利益累計額合計	1,355	1,387
非支配株主持分	336	335
純資産合計	19,573	17,075
負債純資産合計	22,977	20,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,846	8,732
売上原価	8,026	7,397
売上総利益	820	1,335
販売費及び一般管理費	662	682
営業利益	158	652
営業外収益		
受取利息	22	19
受取配当金	48	46
不動産賃貸料	28	26
その他	9	33
営業外収益合計	107	125
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	18	13
不動産賃貸原価	12	11
その他	6	8
営業外費用合計	37	32
経常利益	228	745
特別利益		
固定資産売却益	7	5
投資有価証券売却益	14	—
特別利益合計	20	5
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	17
投資有価証券評価損	2	—
その他	0	—
特別損失合計	2	17
税金等調整前四半期純利益	247	733
法人税等	114	252
四半期純利益	133	481
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	144	474

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	133	481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	32
その他の包括利益合計	△6	32
四半期包括利益	127	513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138	506
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月13日開催の取締役会決議に基づき、2020年2月14日付で東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(TosTNeT-3)により、自己株式463,100株を取得しております。また、2020年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2020年5月12日付で東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(TosTNeT-3)により、自己株式116,200株を取得しております。

この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,870百万円増加し4,896百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,680	166	8,846	—	8,846
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	262	262	△262	—
計	8,680	428	9,108	△262	8,846
セグメント利益	466	49	515	△357	158

(注) 1. セグメント利益の調整額△357百万円には、セグメント間取引消去△21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△336百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,566	166	8,732	—	8,732
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	281	281	△281	—
計	8,566	448	9,013	△281	8,732
セグメント利益	977	70	1,047	△395	652

(注) 1. セグメント利益の調整額△395百万円には、セグメント間取引消去△35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに帰属しない「全社資産」において、土地及び電話加入権の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において土地16百万円、電話加入権1百万円であります。

3. 補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

(百万円未満四捨五入)

	受 注 高	
2020年12月期第3四半期	4,226 百万円	△ 8.3 %
2019年12月期第3四半期	4,608 百万円	△ 44.9 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(参考)受注実績内訳

(単位：百万円)

区分		2019年12月期 第3四半期		2020年12月期 第3四半期		比較増減	増減率	
建設 事業	土木	官公庁	2,437	(52.9 %)	2,748	(65.0 %)	311	12.8 %
		民間	335	(7.3 %)	401	(9.5 %)	66	19.7 %
		計	2,772	(60.2 %)	3,149	(74.5 %)	377	13.6 %
	建築	官公庁	36	(0.8 %)	52	(1.2 %)	16	43.0 %
		民間	1,799	(39.1 %)	1,026	(24.3 %)	△ 774	△ 43.0 %
		計	1,835	(39.8 %)	1,077	(25.5 %)	△ 758	△ 41.3 %
	合計	官公庁	2,473	(53.7 %)	2,799	(66.2 %)	326	13.2 %
		民間	2,135	(46.3 %)	1,427	(33.8 %)	△ 708	△ 33.1 %
		計	4,608	(100.0 %)	4,226	(100.0 %)	△ 381	△ 8.3 %

(注) () 内のパーセント表示は、構成比率